

採用案内パンフレット



独立行政法人
農林水産消費安全技術センター

Incorporated Administrative Agency

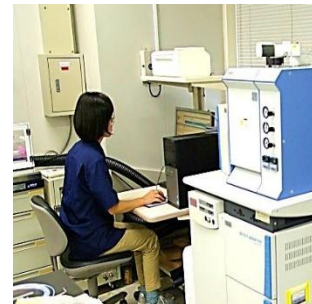
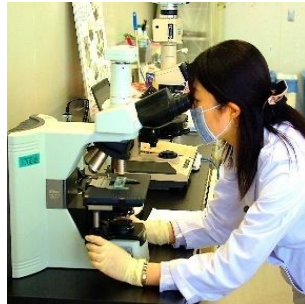
Food and Agricultural Materials Inspection Center



FAMICとは？



2007年に農林水産省所管の3つの検査機関（農林水産消費技術センター、肥飼料検査所、農薬検査所）が統合して設立した独立行政法人です。

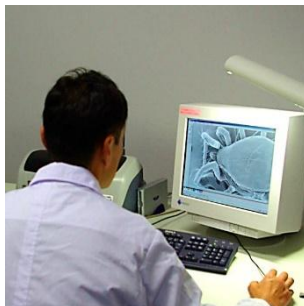


「独立行政法人」とは？

政府の事業のうち、大学や博物館、病院、研究機関など、国から独立して運営した方が効率的な部門を独立させた法人のことです。

「行政執行法人」とは？

独立行政法人のうち、国の行政事務と密接に関連した事務・事業を、国の関与のもとで、単年度ごとの目標・計画に基づいて業務を執行する法人です。

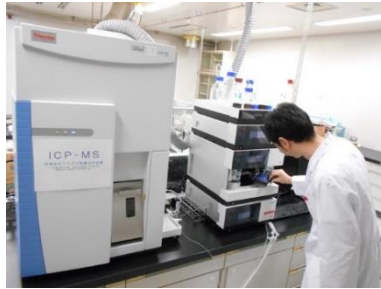


肥料は、生産、輸入、販売にあたって、登録または届出が必要です。FAMICでは肥料法に基づき、新たに登録される肥料が公定規格に適合しているか調査します。また、生産事業場に立ち入り、帳簿書類等の検査、サンプルを採取し、有害物質などが基準の範囲内か、保証された成分は確保されているかについて分析・鑑定を行います。

その他、地力増進法に基づき、バーミキュライトなどの土壌改良資材の品質の検査を行います。



肥料の立入検査



ICP-MSによる金属元素の分析



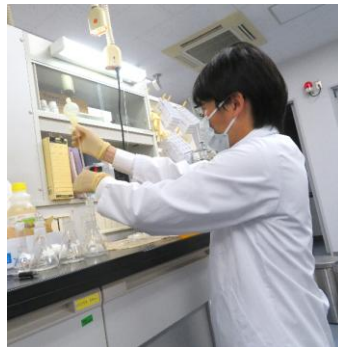
植物に対する害の試験

農薬は、製造、輸入、販売にあたって、農林水産大臣による登録が義務づけられています。FAMICは、農薬の使用時の安全性、薬効、作物に残留する農薬による健康への影響、環境への影響などについて登録審査を行い、農薬の安全を確保する仕組みの中で一翼を担っています。

農薬の登録に必要な試験成績の信頼性を確保するため、GLP (Good Laboratory Practice) 制度に基づき、試験施設を調査しています。また、無登録農薬などの流通を防ぐため、製造者や販売者、使用者への立入検査を行っています。その他、農薬の使用状況と残留実態を把握する調査や農薬登録審査に資する調査研究を行っています。



農薬の登録審査

立入検査で集取した
農薬製剤の分析農薬の蜜蜂への影響に
関する調査研究

不適切な飼料により、家畜の健康被害や有害な畜産物の生産を防止するため、FAMICでは、飼料安全法に基づき、工場などに立ち入り、帳簿書類などの検査やサンプルを採取します。

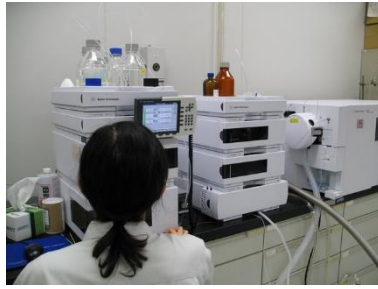
採取したサンプル中の有害物質(例:かび毒、残留農薬)や牛用飼料への肉骨粉※の混入などを分析・鑑定し、基準の適合状況を確認します。

また、飼料製造の安全管理状況を確認し、GMP(適正製造規範)ガイドラインの適合状況の判断を行います。

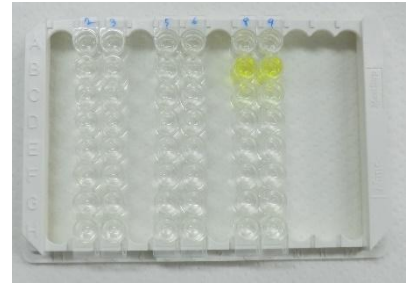
※ 食肉生産時に生じる副産物の飼料(鶏や豚用飼料の良質なたん白源だが、牛は使用禁止)



飼料などの立入検査



LC-MS/MSによるかび毒の分析



牛用飼料への動物由来たん白質(肉骨粉)混入確認のELISA法



過去に有害物質(メラミン)が混入したペットフードにより、米国で犬・猫の大規模な健康被害が発生しました。

ペット(犬・猫)の健康被害を防止するため、FAMICでは、ペットフード安全法に基づき、工場などの立ち入り検査や採取したサンプル中のメラミンなどの分析を行います。

販売されるすべての食品は食品表示基準に従った表示を行うことが食品表示法で義務づけられています。FAMICでは、表示の適正を確保するため、農林水産省と連携して食品の表示を厳しく監視しています。店舗で販売される食品について、原産地や種・品種、加工食品の原材料等が正しく表示されているか、様々な科学的手法を駆使して検査を行います。また、不適正な表示の疑いがあれば、食品表示法に基づき製造工場などへ立入検査を行い、商品や原材料、帳簿書類などを確認します。



DNA分析による種・品種の検査



元素分析による原産地の検査



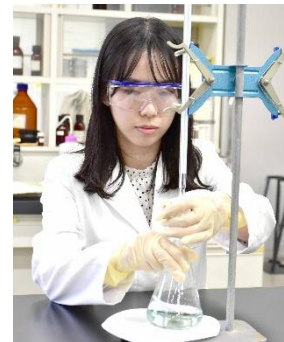
安定同位体比分析による加工食品の原材料の検査

JAS制度は農林水産物・食品の品質や取扱方法等についての規格(JAS)を国が制定し、JASに適合していることを第三者(登録認証機関)が確認する制度です。

FAMICでは、事業者の強みのアピールにつながるJASが制定されるよう、JAS原案を提案する方々を積極的に支援するとともに、JAS制度の信頼性を確保するため登録認証機関に対する立入検査やJAS製品の検査などを行っています。



登録認証機関の現場調査の検査



JAS製品の品質検査



JASマークを付けた食品



JASマークを付けた広告

ジャサフ

FAMIC内に認定センター(略称: JASaff)を設置し、国際規格であるISO/IEC17011に基づき、農林水産分野の規格に関する認証機関及び試験所の認定を行っています。

また、JASaffは、認定を行う機関の国際的枠組みに参加することで、認定の審査が国際的に通用するものとなり、認証機関及び試験所の信頼性向上に貢献しています。



認定センターロゴ

輸出促進法により、我が国で生産された農林水産物及び食品の輸出促進が図られています。FAMICでは、これらの輸出に必要な輸出先国が求める施設認定の手続きや輸出証明書の発行を実施する登録認証機関等の登録・更新に係る調査等を行っています。また、関係者が一体となり輸出促進に取り組む認定輸出促進団体の規格策定を支援し、これらの活動を通じて輸出促進に貢献をしています。

国際標準化機構(ISO)の、食品や飼料、林産物に係る専門委員会の国内審議団体として、国際規格作成に関する国内意見の取りまとめや国際会議参加などを行っています。

農薬の登録制度に関する国際調和のため、経済協力開発機構(OECD)における農薬作業部会及びGLP作業部会、国際農薬分析法協議会(CIPAC)などの国際会議に参加しています。

飼料の安全及び分析分野における世界で初の国際獣疫事務局(WOAH)コラボレーティング・センターとして、飼料の安全性に関する情報の収集・発信、技術協力などを行っています。



**Food and Agricultural
Materials Inspection Center**

WOAH Collaborating Centre
for Animal Feed Safety and Analysis

Reference Centre  World Organisation
for Animal Health
Founded in 1967

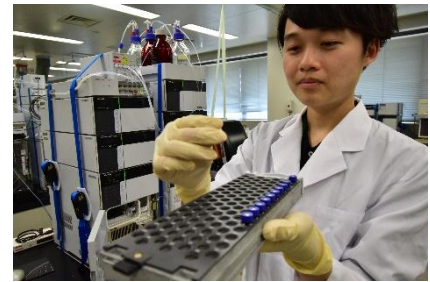
農林水産消費安全技術センター

国際獣疫事務局コラボレーティング・センター【飼料の安全と分析分野】

WOAHコラボレーティング・センター

農林水産省の「サーベイランス・モニタリング計画※」に基づき、リスク管理のために農産物及び飼料中の重金属、かび毒などの微量有害物質の分析調査を行い、その結果を農林水産省に報告しています。

※農畜水産物や食品などが有害化学物質によってどれだけ汚染されているかを調査



かび毒の分析

業務を通じて蓄積した科学的知見をもとに、広く国民の皆さまに食品の表示や農業生産資材に関する情報を様々なツールを活用して積極的に提供しています。



各種講習会



イベント参加



ホームページ、広報誌、SNS

食品、肥料、飼料及び農薬の新しい検査・分析法や、より効率的、効果的な分析法の開発に取り組んでいます。開発した肥料や飼料の分析法の多くは公定法として定められます。

国の研究機関や大学などと連携して研究を進めることもあります。得られた技術はマニュアル化し日々の業務に活用しています。



FAMICの検査業務には、高い信頼性が要求されます。そのため、分析試験所などの能力に関する国際規格であるISO/IEC17025の認定を取得しています。

ISO/IEC17025 : 2017認定の概要



Testing LAB
RTL03860

農林水産消費安全技術センター
中央分析室

LC-MS/MSによる小麦及び大麦
中の赤かび病かび毒の定量試験



認定番号102043

農林水産消費安全技術センター
肥飼料安全検査部

とうもろこし中のかび毒のLC-MS/MS
による定量試験
飼料中のほ乳動物、反すう動物、牛及び
鹿由来DNAの検出試験

先輩職員からのメッセージ

認定センター 登録審査課
2021年採用 一般職（大卒） 農学

私の仕事

登録審査課では、JAS（日本農林規格）に関する様々な調査を実施しています。中でも私は特に、林産物JASの業務に携わっており、関係機関の事業所や検査施設への調査をはじめ、工場に訪問したり、流通品の検査も行っています。

林産物の検査は化学分析も含まれていますが、物理試験が主となっていて、FAMICの他部門では実施していない内容がたくさんあります。

スーツを着て調査に行ったり、作業着や安全靴で検査をしたりと、様々な側面からJAS制度の適正な運用に貢献できることが、この仕事の魅力です。



FAMICを志望した動機

昔から生物や化学が好きで、実験や分析に興味を持っていました。大学では生命化学を専攻していましたが、国家公務員という立場でありながら、分析業務を実施しているFAMICに興味を湧き、学生時代に1週間インターンに参加しました。そこで業務内容はもちろん、職場の雰囲気がとても良いなと感じたため、FAMICを志望しました。

FAMICを志望される方へ メッセージ

私は採用されるまで、林産は完全に未経験の分野でしたが、少しずつ経験や勉強を重ねて調査や検査を実施できるようになるところに、とてもやりがいを感じます。

色々なことに興味をもち、探求していけるような方におすすめの職場だと思います。

また、インターンで感じた職場の雰囲気の良さは採用されてからも変わらずで、休暇もとりのやすい環境なので、仕事とプライベートの両立がしやすいことも魅力です。休日は趣味のアウトドアを全力で楽しんでいます！

少しでもFAMICに興味がある方は、是非説明会やインターンに参加してみてください。お待ちしております！

登 録



ある日のスケジュール

08:50

出勤。
頭の中で一日の流れを整理しておきます。

09:00

業務開始。
メールのチェックや、検査の準備を行います。

09:30

検査開始。
ホームセンターなど購入した林産物の検査を行います。品目に応じて多種多様な検査があります。

12:00

昼休み。
お弁当を持参しています。

13:00

業務再開。
検査の隙間時間に、事務的な作業を進めます。

14:00

検査再開。
大きな機械で試験を実施します。また、翌日に備えて試験片の作製を行います。

16:00

報告書の作成。
木材の検査結果をまとめて報告書を作成します。その他、関係機関の事業所や工場へ訪問する調査もあり、その報告書も作成します。

17:45

業務終了。



先輩職員からのメッセージ

農 薬



農薬検査部 農薬品質審査課
2023年採用 一般職（大卒） 化学

私の仕事

私の所属する農薬品質審査課では、主に農薬の登録審査業務及び農薬の検査業務を行っています。

登録審査業務では、申請者より提出された試験成績をもとに農薬の作用や安全性にとって重要な物理的・化学的性状（形状や水溶性など）のほか有効成分の含有濃度を測定するための分析方法などについて審査をしています。

検査業務では、製造工場への立入検査で集取した農薬について、実際に物理的・化学的性状試験や分析試験を行い、登録されたとおりであることを確認し、市場に流通する農薬に問題がないか確認をしています。

ある日のスケジュール

08:55

出勤。

09:00

業務開始。
機器の使用前点検、試料や試薬の準備をします。

09:30

分析開始。
試料の抽出を行い、HPLCやGCの分析機器を使い試料を測定します。

12:00

昼休み。
職場で購入しているお弁当を食べます。

13:00

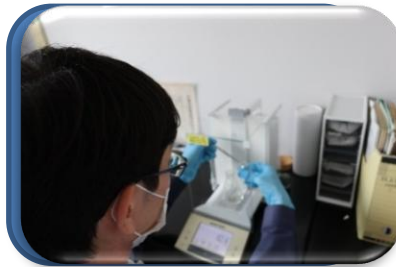
業務再開。
試料を分析機器で測定している間に申請された農薬の登録審査業務を行います。

17:00

測定が終了すると結果をまとめ、分析報告書を作成し、上司に提出します。

17:45

仕事を終え、帰宅します。



FAMICを志望した動機

私は大学時代に天然物化学を専攻しており、食品と農薬に関して学んでいました。そのため、当初は食品と農薬どちらかにでも関わることのできる職に就きたいと考えていましたが、同じ機関でありながら食品や農薬だけではなく肥飼料部門もあるFAMICを知り、ここならば様々な経験をすることができると思い、FAMICを志望しました。

また、国家公務員という立場でありながら、分析業務に携わることができることに魅力を感じたということも決め手の一つです。

FAMICを志望される方へ メッセージ

FAMICは、食品・農薬・肥飼料といった分野の異なる部門があるほか、同じ農薬部門のなかでも、環境に対する影響・安全性・薬効など様々な内容に分かれて業務をしているため、いろいろな経験をしてみたい方にはオススメの職場だと思います。また、その分野の知識がなくても、研修や先輩職員に教えてもらいながら仕事ができるので安心して働くことができる職場です。

少しでもFAMICに興味を持たれた方は、業務説明会やインターンシップに足を運んでみてください。



先輩職員からのメッセージ

肥飼料安全検査部 肥料管理課
2024年採用 一般職（大卒） 農学

私の仕事

私の仕事は、主に肥料の登録申請の受付及び肥料業者への立入検査を行うことです。

登録申請受付業務では、新たに登録したい肥料について事業者から相談を受け、登録申請があったものについては、規格に適合しているか確認し、申請内容の調査結果を農林水産省へ報告します。

立入検査業務では、肥料の生産や輸入を行っている事業者へ立入し、生産工程の確認や肥料のサンプリングを行い、肥料の法律に基づく安全性の確認を行っています。



FAMICを志望した動機

私は大学時代に農業や食品について学んだことから、農業や食品に携わる仕事がしたいと考えていました。そのような中でFAMICを知り、FAMICには食品部門から農薬、肥飼料部門まであり、食のサプライチェーンの川上である農業から川下の食品まで幅広く携わることができることに魅力を感じました。このような魅力のあるFAMICにおいて、大学時代に学んだ知識や技術を活かして幅広く食の安全確保に貢献したいと考えため、志望致しました。

FAMICを志望される方へ メッセージ

私が配属された課では、多くの業務が肥料の法律に基づく業務で、大学時代に法律についての勉強をしておらず不安でしたが、周囲の方々が丁寧に教えて下さり、不明点も聞きやすい雰囲気職場で、安心して働くことができます。また、立入検査で出張に行くことも多く、初めての場所に行くことが好きな方には魅力的な職場だと思います。

プライベートについても、有給休暇を取りやすい環境で、休日と合わせて連休を取り、旅行などのスケジュールも組むことができます。プライベートも仕事も両立することができ、働きやすい環境だと思いますので、就職後のストレスについては心配せずに就活を乗り越えてください！

肥料



ある日のスケジュール

08:50

出勤。メールのチェック

09:30

農林水産省へ報告する調査結果報告書の確認・読み合わせ。

11:00

受付した登録申請について農林水産省へ一次連絡。

12:00

お昼。

13:00

メールのチェック。

14:00

受付した登録申請について一覧表を作成・確認し、農林水産省へ情報共有。

16:00

登録予定の登録証の内容を確認し、農林水産省へ連絡。

17:45

退勤。



先輩職員からのメッセージ

飼料



肥飼料安全検査部 飼料鑑定第二課
2022年採用 一般職（大卒） 畜産

私の仕事

私の仕事は家畜用の飼料とペットフードを検査、分析することです。飼料やペットフードを製造・販売・輸入する事業場に立入査を行い、原料の受入から製造、製品の出荷までの記録を調べて問題がないかを確認します。また、製品や原料をサンプリングし、分析を行います。サルモネラなどの病原性微生物の有無を確認したり、牛用飼料であれば動物性たんぱく質が含まれていないかなどをPCR法やエライザ法により確認します。飼料やペットフードの事業場への立入検査と製品や原料中の有害な成分を分析することで、家畜やペットそして畜産物を食べる消費者の安全と健康に貢献することができるやりがいのある仕事です。

ある日のスケジュール

08:30

出勤。
メールをチェックしたり、今日のスケジュールを確認したりします。

09:00

昨日やりそびれた簡単な書類の作業や、提出物などの作成をします。

10:00

分析の準備をします。
試料のサンプリングをしたり、器具・試薬の準備をします。

12:00

昼休み。持参したお弁当や、コンビニ等のご飯を食べます。たまに外にも食べに行きます。

13:00

分析再開。
試料の抽出、抽出液の希釈を行い、寒天培地に分注します。

16:30

培養が必要な場合は、インキュベーターに培地を入れて次の日まで待ちます。分析の後片付けをします。

17:00

試験室を施錠し、
自席に戻りメールの確認をします。

17:15

業務を終了し帰宅します。



FAMICを志望した動機

私は大学で主に畜産を専攻していたこともあり、動物に関連する仕事、特に飼料やペットフードに携わる仕事がしたいと考えていました。また、得意としてきた分野ではないものの、分析業務にも興味がありました。FAMICでは分析という角度から飼料やペットフードの安全を守ることに貢献することができること、また飼料やペットフード以外にも肥料、農薬、食品と色々な分野から人の安全にも関わることができることに魅力を感じ、志望いたしました。

FAMICを志望される方へ メッセージ

初めて行う作業や初めて実施する分析法があっても、先輩方が丁寧に教えてくださるので安心して仕事ができると思います。慣れるまで一緒に実施してくれたり、上手くできなくても励ましたりしてくれる方々がたくさんいる素敵な職場です。また、有給休暇が取りやすいので、FAMICは仕事とプライベートの両立が可能な職場環境だと思います。

分析業務をしたい方はもちろん、分析業務以外の業務がメインの部署もありますので、入省し色々な部署を経験する中で自分のやりたい業務や自分に合ったスタイルを見つけられるのではないかと思います。興味を持ってくださった方はぜひ見学会や業務説明会にいらしてください。



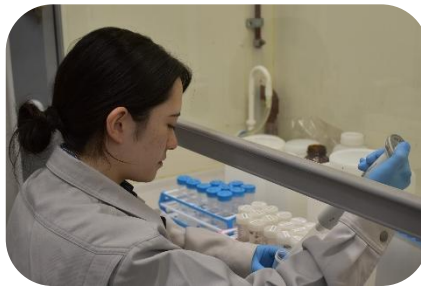
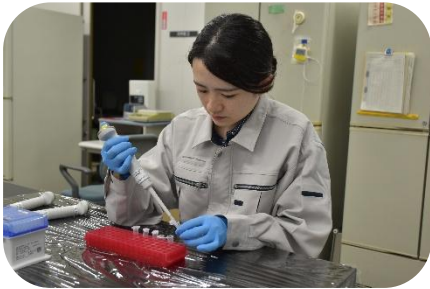
先輩職員からのメッセージ

表示監視部 表示指導課
2021年採用 一般職（大卒） 農学

私の仕事

表示監視部は、表示指導課・鑑定課・技術研究課の3課で構成されており、DNA分析や元素分析等の科学的検査を通して、普段みなさんが目に見ている食品表示の適正化や信頼性確保に関わる業務を行っています。

私が所属する表示指導課では、市販品を買い上げ、それらに表示されている内容が食品表示基準に沿って正しく表示されているかを分析によって確認しています。また、科学的分析の結果、不適正な表示であることが疑われた場合には、農林水産大臣の指示により事業者への立入検査を実施します。



FAMICを志望した動機

私は大学で食品科学を専攻しており、食の安全に関わる仕事に就きたいと思っているなか、大学の講義でFAMICの存在を知りました。

大学3年の夏休みにインターンシップへ参加した際、大変温かく受け入れていただき、大学で学んだ知識を生かしながら、幅広い分野を通じて「食の安全を守ると」という目的を持って働くことができる場所はFAMICしかないと思い志望しました。また、デスクワーク以外に分析業務を行えることが私にとって魅力的でした。

FAMICを志望される方へ メッセージ

FAMICは大きく分けて食品・肥飼料・農薬の3部門で成り立っているため、専門性を高めることも、マルチな経験を積むことも可能な職場で、仕事に飽きることなく長く働くことができると思います。

また、私は地方出身で、縁もゆかりもない場所に転勤があることに不安を感じていましたが、今まで勤務した本部と神戸センターでは上司や同僚に恵まれ、楽しく生活することができ、「住めば都」という言葉は嘘ではないこと実感しています。

興味がある方は、気軽にインターンシップや業務説明会に参加してみてください！

表示



ある日のスケジュール

08:30

出勤。
メールと1日のスケジュールを確認します。

09:00

前日までに買い上げた市販品の写真撮影や官能検査を行います。

12:00

昼休み。
お弁当を持参し、同期とおしゃべりしながら食べています。
食後は自席で昼寝をします。

13:00

試料を調製し、分析を行います。
分析が終了したら後片付けも行います。

16:45

分析結果をとりまとめ、上司に提出します。

17:15

退勤。



採用について

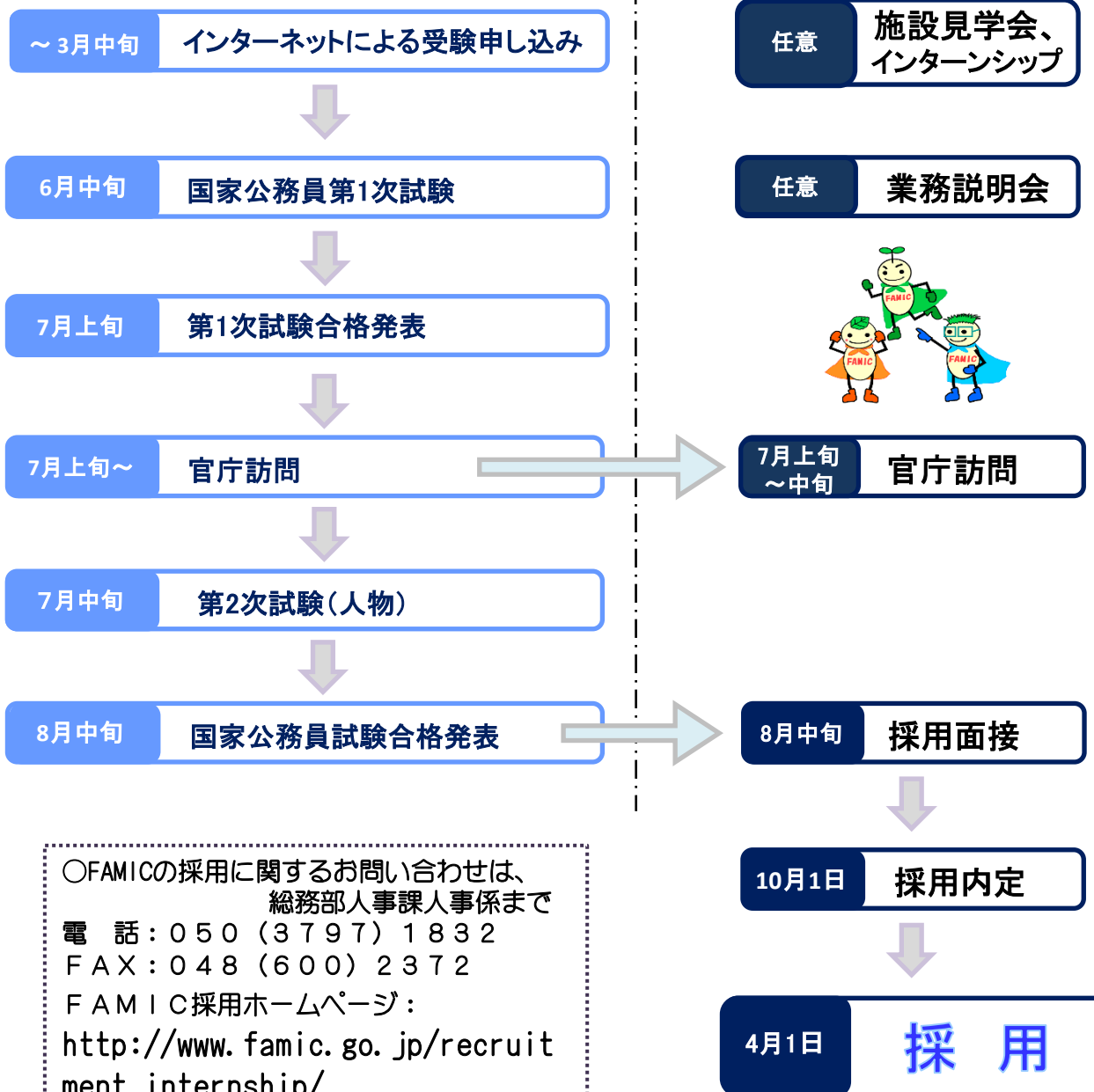
FAMIC の職員は、人事院の国家公務員採用試験またはそれに準ずる試験（農林水産省技術系職員採用試験）の合格者の中から採用を行っています。

国家公務員採用試験については、人事院のホームページ。農林水産省技術系職員採用試験につきましては、農林水産省のホームページをご参照ください。

業務説明会ならびに官庁訪問の詳細につきましては、実施時期になりましたらホームページに掲載しますので、ご覧ください。

一般職試験(大卒程度) (おおまかな流れ)

FAMICでの 採用までの流れ



○FAMICの採用に関するお問い合わせは、
総務部人事課人事係まで
電話：050(3797)1832
FAX：048(600)2372
FAMIC採用ホームページ：
http://www.famic.go.jp/recruitment_internship/

Q&A

Q 採用（実績）について教えてください。

A F A M I Cでは、人事院が実施する国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験及び高卒者試験）の合格者のうち、F A M I Cの採用面接に合格した方及び農林水産省の技術系職員採用試験（一般職試験(大卒程度試験)相当）の合格者を採用しています。

なお、過去4年間の採用実績及び来年度の採用予定については右記のとおりです。

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (予定)
大卒	7(5)	19(14)	10(4)	19(13)	21
高卒	-	3(2)	2(1)	2(-)	1

※カッコ内は女性の人数(内数)

Q 勤務時間・休暇制度について教えてください。

A 1日の勤務時間は7時間45分です。本部（さいたま市）の場合、3種類の勤務時間（①8:30～17:15、②9:00～17:45、③9:15～18:00）から選択することができます。また、育児・介護を行う職員のための早出遅出勤務のほか、フレックスタイム制勤務など、様々な勤務形態があります。

土・日曜日、祝日及び年末・年始は休日となります。

休暇については、年次休暇(年20日(4月1日採用の場合、その年は15日))、特別休暇(夏季休暇、産前産後の休暇、忌引)、病気休暇があります(別途、育児休業制度あり)。

Q 初任給はどれくらいですか。

A F A M I C職員は国家公務員の身分を有しており、国の法律などに準じております。本部（さいたま市）に勤務する場合、大卒で月額262,160円(令和7年4月時点)となります。その他、状況に応じて住居手当、通勤手当などが支給されます。

Q 人事異動（転勤）について教えてください。

A 平均して2～3年で人事異動があります。本人の意向を尊重しつつ、適性・能力などを総合的に判断の上、部内異動や本部・地域センター間の異動があります。また、所管省庁である農林水産省などへの人事交流もあります。

Q 職員は全国で何人いますか。男女別数はどうなっていますか。

A F A M I Cの本部・地域センター別の職員数及び男女別内訳は以下のとおりです。

令和7年4月1日現在

	本部	小平	横浜	札幌	仙台	名古屋	神戸	福岡	合計
計	248	94	42	32	32	38	83	47	616
男	147	60	25	23	22	27	56	35	395
女	101	34	17	9	10	11	27	12	221

FAMICの所在地及び連絡先

●本部

〒330-9731 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
さいたま新都心合同庁舎検査棟
電話：050(3797)1830(代表)
FAX：048(600)2372
ホームページ：<http://www.famic.go.jp/>



●農薬検査部



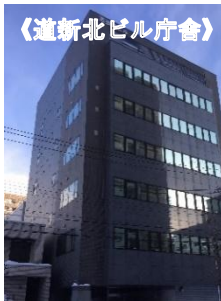
〒187-0011
東京都小平市鈴木町2-772
Tel.050-3797-1876

●横浜事務所



〒231-0003
神奈川県横浜市中区北仲通5-57
横浜第2合同庁舎
Tel.050-3797-2714

●札幌センター



〒001-0010
北海道札幌市北区北10条西
4-1-13
Tel.050-3797-1758



〒060-0042
北海道札幌市中央区大通西10-4-1
Tel.050-3797-2716

●仙台センター



〒983-0842
宮城県仙台市宮城野区五輪1-3-15
仙台第3合同庁舎
Tel.050-3797-1888

●名古屋センター



〒460-0001
愛知県名古屋市中区三の丸1-2-2
名古屋農林総合庁舎2号館
Tel.050-3797-1896

●神戸センター



〒650-0047
兵庫県神戸市中央区港島南町1-3-7
Tel.050-3797-1906

●福岡センター



〒813-0044
福岡県福岡市東区早3-11-15
Tel.050-3797-1918